

順位	氏名（議席）	発言の要旨
10	佐野 智昭（18）	<p>1. 浜幼稚園跡地の教訓を踏まえた浜保育園跡地の利活用について</p> <p>本市は、富士市公立教育・保育施設再配置計画個別計画に基づき、公立施設の再編・廃止を進めている。</p> <p>田子浦地区においては、地域と密接な関わりを持っていた浜幼稚園と浜保育園がその対象となり、浜幼稚園は令和2年3月、浜保育園は令和7年3月に廃止となった。</p> <p>地区にとってこの施設の建物は、単なる箱物ではなく地区住民との共同の記憶が宿る重要な地域資源であるが、廃止後の跡地の利活用について、市と地区の間で温度差が生じているように感じる。</p> <p>特に、浜幼稚園跡地は廃止から5年半もの塩漬け期間を経て、最終的に建物を残したまま売却という結末を迎えた。これは、地区の声や公有財産活用指針が十分に生かされたと言えるのか疑問が残るところである。</p> <p>この教訓を踏まえ、浜保育園跡地の利活用については、同じ轍を踏まないよう、地域の意見を反映した迅速な課題解決と合意形成が必要であると考え、以下質問する。</p> <p>(1) 浜幼稚園跡地利活用の検証と教訓について</p> <p>① 廃止から売却決定までに5年半もの長期間を要した理由は何か。</p> <p>② 市として描いていた理想の利活用像と、それを実現できなかった障壁は何か。</p> <p>③ 今後、建物がそのまま放置され、廃墟化・老朽化が進み、地区の治安や景観の悪化などの問題が発生してしまう可能性はないか。</p> <p>(2) 浜保育園跡地利活用の課題解決への姿勢と合意形成について</p> <p>① 跡地の利活用に当たっては、市街化調整区域であること、接道要件、建物の老朽化などの課題が挙げられている。市としてこれらの課題解決に向けた具体的な道筋をいつまでに示せるのか、課題解決へのロードマップと決意を伺う。</p> <p>② 田子浦地区行政懇談会において、地区住民の意見交換の場を設けるという回答があった。浜幼稚園と同じく、結論ありきのプロセスとなってしまうまい、単なる報告会や意見聴取の場ではなく、地区要望の実現に向けた具体的な内容を検討し、市と住民が合意形成を図る場として設置すべきであると考えがいかがか。</p> <p>2. 地域活動を支える依頼及び委嘱事業の持続可能性について</p> <p>本市では、用水委員、水門管理人、不法投棄監視パトロール隊、自然巡視員（以下、総称して「協力者」という。）は、市民の自発的な協力や地区からの推薦の下、行政活動にとって不可欠な事業を個別に依頼及び委嘱している。</p> <p>これらの活動は、安全で良好な生活環境、農業基盤、自然環境を支える縁の下での力持ちであり、地域コミュニティの維持にも寄与している。</p> <p>しかしながら、高齢化やライフスタイルの変化などに伴い、協力者の負担増や新たな担い手確保の困難化により、事業が継続できるのか懸念している。</p> <p>市が個別に依頼及び委嘱しているこれらの重要な事業を、今後も確実に継続していく必要があると考え、以下質問する。</p> <p>(1) 現状と課題認識について</p> <p>① 市が個別に依頼及び委嘱している主要な事業について、協力者の状況と担い手確保の現状をどのように認識しているか。</p> <p>② 担い手不足が原因で、既に活動に支障が出ている事例や、将来的に継</p>

順位	氏名（議席）	発 言 の 要 旨
10	佐野 智昭（18）	<p>続が危ぶまれる事業はあるか。</p> <p>（2）活動の継続と担い手確保に向けた対策について</p> <p>① 協力者に対して支払われる報償費・謝礼について、現在の活動内容などに見合った適切な水準にあるか再評価を行う必要があると考えるがいかがか。</p> <p>② 活動の意義や地区への貢献度を広く市民に周知するためのPRを行い、新たな担い手確保につなげていく必要があると考えるがいかがか。</p> <p>③ 各種事業全体的に、活動の継続と担い手確保に向けて、地区や社会状況の変化などを踏まえ、活動内容や役割などについて検証する必要があると考えるがいかがか。</p>